

総代会での表彰

- 1、永年役員功勞表彰
 (三重県電気工事業工業組
 合理事長、三重県電気工
 事協力会長)
- 2、特別優良技能店表彰
 (協力会中部連合会長)
- 3、安全推進優良工事店表
 彰(協力会)
- 4、優良工事店感謝状
 (中部電力)

津	永年役員功勞感謝状 (中部電力(津支店長))	小野電気商会
上野	特別優良技能店表彰 (協力会中部連合会長)	日興電機商会
津	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	上野電工株式会社
松阪	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	北村電工舎
伊勢、鳥羽	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	旭電気商会
四日市、亀山	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	三井電気商会
久居	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	親和電機工業株式会社
上野	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	井上電気工業所
名張	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	富田(株)昇正電機
松阪	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	桑名(株)満仲電気工業所
大台	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	員弁(株)多湖電気商会
尾鷲	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	鈴鹿(株)川井電気商会
伊勢	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	亀山(株)前田電気
鳥羽	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	5、共同保守管理業務 契約化運動表彰 (工業組合)
鶴方	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	桑名地区代表 (株)多度電気商会
四日市	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	同努力賞
富田	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	四日市(株)藤井電気商会
桑名	安全推進優良工事店表 彰(協力会)	

6、小規模工事優良地区表

津地区	四日市地区
松阪地区	富田地区
大台地区	桑名地区
尾鷲地区	鈴鹿地区
	亀山地区

晴れの表彰

- ① 5月28日、東京で開催された全日電工連総会において、永年勤続職員として、上野地区宮森喜代さんが晴れの表彰を受彰されました。
 - ② 6月7日開催された電気安全中部委員会三重支部総会席上、つぎの方々
- | | |
|-----|-----------------|
| 津 | に委員長表彰が伝達されました。 |
| 上野 | (優良電気工事士) |
| 松阪 | (株)大栄電気商会 |
| 大台 | 井端 清 |
| 尾鷲 | 鶴方 三井電気商会 |
| 伊勢 | 三井 徳男 |
| 四日市 | 亀山 (株)岡電気工業所 |
| 富田 | 岡 幸三郎 |

理事会・委員会などのうごき

- ◎60・4・4(木)
 - 〔「共・保」契約者座談会〕 (10名出席)
 - 総代会関係・その他
 - 60年度収支予算案について
- ◎60・4・10(水)
 - 〔常任・総務合同会議〕 (10名出席)
 - 60年度事業の推進対策
 - 会員拡充運動推進について
 - 59年度収支決算結果について
- ◎60・4・19(金)
 - 〔理事会〕 (21名出席)
 - 事業報告
 - 加入・退会・変更承認
 - 総代会提出議案審議
 - 総代会の運営について
 - その他
 - 60年度事業の推進対策
 - 会員拡充運動推進について
 - 各地域での活動について
 - その他
- ◎60・6・12(水)
 - 〔技術委員会〕 (7名出席)
 - 60年度事業の具体策について
 - 技能オリンピック大会について
 - 各種講習会開催について
 - 各地区自主実施事業の徹底について
 - その他
 - 20、40周年記念事業について
 - その他

第76回

中部連合会総会

鳥羽市で開催

五月晴の好天に恵まれた去る五月十七日、鳥羽市・安楽島の小涌園ホテルにおいて第76回中部電気工事協力会連合会総会が盛大に開催された。

毎年各県協力を担当により持回り開催となっており、業界の発展のため関係機関の役員一同が参集、事業ならびに収支関係等について審議決定するとともに日常の事業運営などの情報

交換の場として実施しているものである。

当日は中部各県から関係役員百余名が、つぎつぎ到着、地元役員はじめ中電職員への応援を得て、駅前案内、受付、資料配布、各部屋への案内と大会気運がいよいよ盛り上がる。

定刻十五時、三百畳の大広間に全員が着席、地元亀井副会長の司会により総会を開始、甘利会長を議長に「59年度事業報告ならびに収支決算報告」「60年度事業計画案および収支予算案」など十二項目にわたる議案が順次提案され、審議、いずれも原案どおり承認可決された。

終つて59年度特別優良技能店表彰者が発表され、各県代表六名（三重県代表は伊勢支部鳥羽地区の竹野電気商会）がそれぞれ受彰、参加者全員の大きな拍手で

地元役員席



その榮譽がたたえられた。

総会終了後は関係役員の写真撮影が玄関前で行われ休憩後再び大広間での懇親会、蒔田専務理事の司会により角谷会長、和田中電津支店長の歓迎あいさつに始まり一二六名の大懇親会となる。やがて郷土芸能として有名な磯部太鼓が披露され躍動美と神秘性をただよわす素晴らしい熱演により会場は一段と盛り上がり、一年に一回となった総会の会場はあちこちで懐旧談に花が咲き、さしもの大会場は大交流の場となり大賑わい、やがてはおなじみのカ

ラオケが始ったがトップバッターは中電津支店長の和田顧問、つづく登壇者は期せずして各県競演となり延々と続く、このころの司会は地元の楠常任理事の名司会により愈々会場のふんいきは最高潮となる、やがて予定時間近くなるや甘利会長の出演でもって終宴へと結ぶ。

総会と懇親会とすべて予定どおり進行し一同別れを惜しみつつ有意義な総会を終えた。

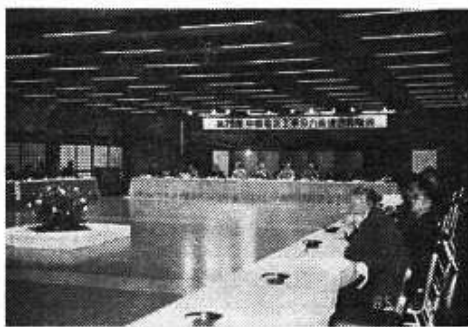
このように各県役員、関係者を地元にお迎えしての総会運営については地元役員はじめ中部電力関係者の絶大なご協力の賜であり紙上をかりてあらためて厚く御礼を申し上げます。



磯部太鼓の熱演

なお解散後各県から、従来にならぬ盛大な総会・地元みなさんご配慮に心から感謝のことばが届いていけることを申し添えます。

中部連合会総会



会 員 異 動

60年3月以降の会員異動は下記のとおりです。
名簿の追記修正をお願いします。

(事務局)

地区	種別	新旧	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録届出申請番号
亀山	新加入		34939	川戸電気工事	川戸一夫	亀山市辺法寺町1047-1	05958 5-0039	519-02	59-38
上野	退会		31439	東電気店	東昇	阿山郡大山田村大字平田712	05954 7-0030	518-14	56-346
四日市	〃		34134	昭栄電工社	川崎一夫	四日市市別名四丁目16-1	0593 33-0706	510	57-70
名張	相続加入	新	31624	小川電気店	小川和秀	名張市桔梗ヶ丘4番4-18	05956 5-1638	518-04	(届出) 85-8
		旧	〃	〃	小川克彦	〃	〃	〃	〃 83-13
富田	承継加入	新	34312	ケンエイ電設 幸栄電設機	渡辺賢三	四日市市松寺3丁目7-4	0593 65-3440	512	60-26 (届出) 56-31
富田	〃	新	34315	(株)昇正電機 昇正電気工業所	森正夫	三重郡川越町豊田455	0593 65-1703	512	(届出) 84-25 56-71
伊勢	変更	新	33053	(株)奥野電工	奥野千昭	伊勢市村松町字明野1358-25 度会郡御園村小林954	0596 37-0374 〃 36-0300	516	(届出) 53-21
伊勢	〃	新	33037	酒徳電気工業	酒徳円吉	伊勢市通町113-4 伊勢市竹ヶ鼻町72-5	0596 25-5960 〃 36-3844	516	(届出) 51-24

昭和60年度 電気工事士筆記試験実施状況

(財)電試センター 中部支部

内 訳		試験地別						
		名古屋	静岡	津	岐阜	長野	合計	
受験申請者数	筆記試験受験者数	5,030	2,198	961	1,185	1,171	10,545	
	〃 免除者数	1,201	779	281	168	156	2,585	
	計	6,231	2,977	1,242	1,353	1,327	13,130	
筆記試験実施状況	午前の部	受験対象者数	2,520	1,080	481	600	600	5,281
		欠席者数	123	34	25	17	30	229
		受験者数	2,397	1,046	456	583	570	5,052
		受験率(%)	95.1	96.9	94.8	97.2	95.0	95.7
	午後の部	受験対象者数	2,510	1,118	480	585	571	5,264
		欠席者数	123	47	39	28	42	279
		受験者数	2,387	1,071	441	557	529	4,985
		受験率(%)	95.1	95.8	91.9	95.2	92.6	94.7
計	受験対象者数	5,030	2,198	961	1,185	1,171	10,545	
	欠席者数	246	81	64	45	72	508	
	受験者数	4,784	2,117	897	1,140	1,099	10,037	
	受験率(%)	95.1	96.3	93.3	96.2	93.9	95.2	

60年度

電気工事士筆記試験実施状況

電気工事士法の改正後、民間委託となって電気技術者試験センターによる最初の電気工事士筆記試験が去る五月二十六日、全国一斉に実施されました。

各支部において受験準備講習に熱心に取り組まれた受験者のみなさん、ならびに長期間指導運営に努力された方々、ほんとうにご苦労さまでした。

試験センター中部支局管内の当日の実施状況が別表のとおり発表されました。結果は全国集約後合格通知が発送されますが、つぎの技能試験は来る九月八日(日)となっておりますので一層のご努力をお願いします。

〈リレー特集〉

〈名所、旧跡を訪ねて〉

平氏発祥伝説地 「忠盛塚」

津地区 蒔田正幸



平氏一門の活躍した時代を偲ばせる忠盛塚

近鉄津新町駅から歩行約四十分、忠盛塚は、県道津上野線から長谷山への道を一〇〇メートルほど進んだ道路沿いであって、西南へ車であれば約十二分ほどで訪れることができる。ここに産品の地は、清盛の父忠盛

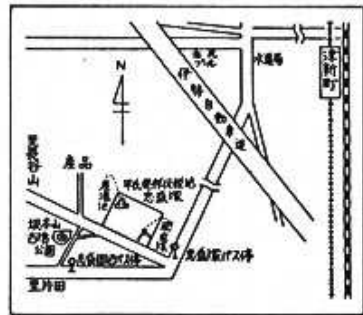
が生れた所といわれ、忠盛の胞衣塚や産湯を使ったという産湯池があつて、伊勢平氏発祥の伝説地として県指定史跡にされている。十一世紀の初め、平貞衡が安濃津を領して安濃津三郎と称し、同じくその子貞清も安濃津三郎と名乗った。つまり、そのころ平氏が伊勢の國に土着し、神宮領などを手中にして勢力を伸べていったと考えられる。貞清のあと一族の正盛が跡を継ぎ、忠盛はその正盛の子である。江戸時代初期の地誌「勢陽雜記」に「此所に、まりが塚とて少しき

丸山の岡あり。平氏忠盛の誕生所といひ伝ふ。実はうまれ塚と云心也」とあり、現在も「忠盛塚」として親しまれている。正盛は京にいたることが多く、この地での忠盛誕生の確認はないが清盛が一門を率いて安濃津の港より熊野詣でに船出し

丸山の岡あり。平氏忠盛の誕生所といひ伝ふ。実はうまれ塚と云心也」とあり、現在も「忠盛塚」として親しまれている。正盛は京にいたることが多く、この地での忠盛誕生の確認はないが清盛が一門を率いて安濃津の港より熊野詣でに船出し

丸山の岡あり。平氏忠盛の誕生所といひ伝ふ。実はうまれ塚と云心也」とあり、現在も「忠盛塚」として親しまれている。正盛は京にいたることが多く、この地での忠盛誕生の確認はないが清盛が一門を率いて安濃津の港より熊野詣でに船出し

丸山の岡あり。平氏忠盛の誕生所といひ伝ふ。実はうまれ塚と云心也」とあり、現在も「忠盛塚」として親しまれている。正盛は京にいたることが多く、この地での忠盛誕生の確認はないが清盛が一門を率いて安濃津の港より熊野詣でに船出し



としてよき哉と思われる。因に市民ハイキングコース長谷山への通路にあり家族連れの一日の行楽には最的の地であり津市を一望に眺

青年部会

第4回通常総会開催

「会員資格の範囲拡大される」

去る4月17日、青年部会第4回通常総会が県電気業会館に於いて開催され、五十九名(委任出席を含む)が出席、定刻十三時三十分富田地区、三輪幹事が司会者となり開会、小林会長のあいさつに続き松阪地区、近藤剛氏を議長に選出、59年度事業報告および収支決算報告承認、「60年度事業計画案および収支予算案承認」など原案どおり承認可決、ついで規約の一部改正案が上程され、電気工事業界の発展のため会員資格の範囲を拡大し、青年経営者の育成発展を図るため現行の

められるのはこの地の他にないことを附記いたします。(次号は四日市支部でお願いいたします)

「40才以下の事業主または事業主の後継者」を



六一六名の保守技術員に期待する

(共同保守管理委員会)

共同保守管理業務については、昭和52年4月、名古屋通商産業局の承認を得て業務開始以来、現在までの契約化は約二百件の実績があります。59年度末での継続契約数は一一〇件となっております。

一方この業務に従事できる保守技術員資格者については承認当時九八六名の登録でその後増減を繰り返して更新認定されて参りましたが本年度の更新では六一六名の登録となりました。

電気工事業の不況時代にあって新分野の営業拡大のための業務として発足以来これに従事できる資格取得とらには前に前述のとおり契約実績の延びなやみ状況については、いろいろな情勢、条件の困難さも考えられるが、保守技術員に対する情報提供、PRの不足も一因と委員会では種々検討を重ねております。

先般(四月)現在契約をして保守業務を実施されている代表の方々にお集りいただき、具体的な経験談・

意見などの交換を実施いたしました。共同保守管理業務の有位性と今後の営業につながる将来性など一致した見解が出されており、なお契約実現にいたるまでのエピソードなどの発表もありましたが、いづれも、電気技術者としての誇りとサービス精神でもって需要家の満足をいただき身につけていく技術提供のみで営業拡大できる利点が強調されていきました。

なお今後の問題点としては契約した時点で降確実な細部にわたる点検報告の励行はもちろん、多数の保守技術員に対する常時PR、特に各地区例会時などにおける各役員の積極的な奨励PRとともに契約に対するアドバイスを各事務局、役員、こぞつてできる体勢が必要であるとの意見もあり現在全日電工連ですすめられている書類の簡素化と併せてこれらの整備に取組む予定となっております。

いづれにいたしましても有資格者一人一件の契約実

現を先づ達成できれば、それぞれ経験をもとに今後大いに期待できる業務である。

〈広報委員会より〉

「会報編集について思うこと」

広報委員長 式 嶋 豊

「三重電気会報」も今回で第三十五号と年毎に成長して参りましたが、その際には歴代役員の方々の御苦勞は勿論のこと、会員の皆さんの絶大なる御支援・御協力の賜と篤く御礼申し上げます。

顧みますと我々業界も昭和四十九年の石油ショックに始まりました不況の波に翻弄され、経済環境は厳しく、実に永く暗いトンネルのような昭和五十年代でした。而し最近の新聞等で景気の回復を伝えられる程には私共業界には朗報もなく逆に厳しさが増して来る様な気が致します。

一方OA・HA化・衛星放送等電気通信技術の急速な発達、従来の社会や産業構造を根底から変えてしまふ様な状況で有ります。この様な激しく移り変わる時代の波に乗り遅れない様

ることは間違いない、大きな経営体質改善の一步である共同保守管理業務に六一

六名の有資格者が一大奮起されんことを希望しております。

今までの電気工事業の在り方を根本的に見直し、新しい視点に立って、いろいろな情報を的確に掴んで共に助け合い、ニューメディア時代に対処して行かなければなりません。このときに当り我々広報委員会に於ても積極的にあらゆる情報を収集、皆さんにお伝えするとともに県本部の方針・動き等をお知らせしながら組合員の団結を計り、会員の皆さんと組合を直結するパイプの役目としての「三重電気会報」の使命は益々重且つ大であると痛感して居る次第です。

会報の記事内容等につきましても、従来の様な実施報告ばかりでなく、今後の実施行事予定・新技術の紹介及び解説・各委員会の方針・抱負等を各委員長より発表して頂く様、鋭意努力致したいと思ひます。又、皆さんの組合運営に対する御意見・御要望等、御忌憚のないお声をお聞かせ頂き、お互い力を合せてより良い組合を創って行くため、どうぞ建設的な御投稿をお願い致します。尚リレー記事は従来通り支部単位のリレーとして継続させて頂きますので支部内で各地区の順番を決めるなど各支部で御選択下さい。リレー記事の内容についても「名所旧跡を訪ねて」・「私の趣味」と云うテーマに拘らず、各地方に伝えられるお祭りの由来等を御紹介頂くとか、「トピック・ニュース」・俳句・短歌・川柳等何でも結構です。愛され親しまれる「三重電気会報」として尚一層内容の充実に努力致したいと存じます。今後共よろしく御支援・御協力をお願い致します。